

平成 30 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況	1
2. 主要勘定の概況	4
3. 不良債権の状況	5
4. 自己資本比率の状況	6
5. 業績予想	6

1. 損益の概況

《フィデアホールディングス連結》

低金利環境の長期化から貸出金利息が減少したことや、国債等債券売却益が減少したことなどから、経常収益は前期比 11 億 59 百万円減少し 510 億 26 百万円。その一方で有価証券利息配当金の増加や与信関係費用の減少などから、経常利益は前期比 6 億 3 百万円増加し 65 億 89 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比 3 億 45 百万円減少し 42 億 81 百万円となりました。

《荘内銀行単体》

貸出金利息や国債等債券売却益の減少を主な要因として、経常収益は前期比 5 億 23 百万円減少し 260 億 53 百万円。その一方で有価証券利息配当金の増加や与信関係費用の減少などから、経常利益は前期比 3 億 17 百万円増加し 28 億 16 百万円、当期純利益は前期比 5 億 88 百万円減少し 13 億 79 百万円となりました。

《北都銀行単体》

貸出金利息や国債等債券売却益の減少を主な要因として、経常収益は前期比 9 億 6 百万円減少し 230 億 1 百万円。その一方で経費や与信関係費用の減少などから、経常利益は前期比 1 百万円増加し 26 億 55 百万円、当期純利益は前期比 2 億 54 百万円減少し 18 億 15 百万円となりました。

(単位：百万円)	番号	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増 減 (a-b)		
		連 結	荘内銀行 単体	北都銀行 単体	連 結	荘内銀行 単体	北都銀行 単体	連 結	荘内銀行 単体	北都銀行 単体
経常収益	1	51,026	26,053	23,001	52,185	26,576	23,908	△ 1,159	△ 523	△ 906
業務粗利益	2	35,067	17,393	15,780	37,177	18,112	17,420	△ 2,109	△ 719	△ 1,639
（コア業務粗利益）	3	36,887	18,766	16,377	35,929	17,604	16,680	958	1,162	△ 303
資金利益	4	32,574	17,968	14,756	31,408	16,816	14,790	1,165	1,152	△ 34
役員取引等利益	5	4,921	1,644	2,194	5,191	1,756	2,295	△ 269	△ 112	△ 100
その他業務利益	6	△ 2,428	△ 2,218	△ 1,170	577	△ 459	334	△ 3,005	△ 1,759	△ 1,504
（国債等債券損益）	7	△ 1,820	△ 1,372	△ 597	1,247	508	739	△ 3,068	△ 1,881	△ 1,336
経費	8	29,661	14,791	13,974	29,472	14,379	14,314	188	412	△ 340
うち人件費	9	15,619	6,966	6,493	15,923	7,102	6,667	△ 303	△ 135	△ 174
うち物件費	10	11,798	6,556	6,581	11,648	6,368	6,728	149	188	△ 147
実質業務純益	11	5,406	2,602	1,805	7,704	3,733	3,105	△ 2,298	△ 1,131	△ 1,299
（コア業務純益）	12	7,226	3,975	2,402	6,456	3,225	2,366	769	749	36
一般貸倒引当金繰入額	13	△ 713	△ 434	-	281	6	310	△ 995	△ 440	△ 310
業務純益	14	6,119	3,036	1,805	7,422	3,727	2,794	△ 1,303	△ 691	△ 988
不良債権処理額	15	2,005	1,603	116	2,982	2,023	910	△ 976	△ 420	△ 794
株式等関係損益	16	1,717	779	815	1,132	639	623	584	140	192
経常利益	17	6,589	2,816	2,655	5,986	2,499	2,653	603	317	1
特別損益	18	△ 327	△ 264	△ 527	△ 104	△ 75	△ 49	△ 222	△ 189	△ 477
税金等調整前当期純利益 （税引前当期純利益）	19	6,261	2,552	2,127	5,881	2,423	2,603	380	128	△ 476
法人税等合計	20	1,947	1,172	312	1,226	455	534	720	717	△ 221
親会社株主に帰属する当期 純利益（当期純利益）	21	4,281	1,379	1,815	4,627	1,968	2,069	△ 345	△ 588	△ 254
与信関係費用	22	1,187	1,162	△ 83	3,113	2,022	1,081	△ 1,926	△ 859	△ 1,165

① 平成29年11月公表の業績予想との比較

《フィデアホールディングス連結》
 有価証券利息配当金など資金利益の上振れを主な要因として、経常利益は業績予想を11億89百万円上回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想を3億81百万円上回りました。

《フィデアホールディングス連結》

(単位：百万円)	平成30年3月期 (実績)	業績予想(H29.11.13公表)	比較
経常利益	6,589	5,400	1,189
親会社株主に帰属する当期純利益	4,281	3,900	381

《ご参考 荘内銀行単体および北都銀行単体》

(単位：百万円)	荘内銀行 単体			北都銀行 単体		
	平成30年3月期 (実績)	業績予想 (H29.11.13)	比較	平成30年3月期 (実績)	業績予想 (H29.11.13)	比較
経常利益	2,816	2,200	616	2,655	2,400	255
当期純利益	1,379	1,300	79	1,815	2,000	△ 184

② 資金利益の前期比増減要因

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体
資金利益	32,574	17,968	14,756	31,408	16,816	14,790	1,165	1,152	△ 34
資金運用収益	34,818	19,236	15,779	34,557	18,794	16,053	261	441	△ 273
うち貸出金利息	21,996	11,884	10,345	22,903	12,451	10,724	△ 906	△ 567	△ 379
うち有価証券利息配当金	12,785	7,329	5,420	11,625	6,325	5,318	1,160	1,004	102
資金調達費用	2,244	1,274	1,024	3,148	1,985	1,263	△ 904	△ 711	△ 238
うち預金等利息	1,518	960	558	2,127	1,477	649	△ 608	△ 517	△ 90

③ 役務取引等利益の前期比増減要因

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体
役務取引等利益	4,921	1,644	2,194	5,191	1,756	2,295	△ 269	△ 112	△ 100
役務取引等収益	8,555	4,015	3,870	8,720	4,141	3,854	△ 164	△ 126	15
うち投信関連手数料	1,007	515	491	805	415	389	202	99	102
うち保険関連手数料	1,759	894	864	2,090	1,142	948	△ 331	△ 247	△ 83
役務取引等費用	3,634	2,370	1,675	3,529	2,385	1,559	104	△ 14	115

④ 有価証券関係損益

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体
国債等債券損益	△ 1,820	△ 1,372	△ 597	1,247	508	739	△ 3,068	△ 1,881	△ 1,336
売却益	2,479	833	1,551	4,775	2,378	2,396	△ 2,295	△ 1,544	△ 845
償還益	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売却損	4,300	2,206	2,148	3,499	1,841	1,657	800	364	491
償還損	-	-	-	-	-	-	-	-	-
償却	-	-	-	28	28	-	△ 28	△ 28	-
株式等関係損益	1,717	779	815	1,132	639	623	584	140	192
売却益	2,018	838	1,053	1,624	765	975	394	73	77
売却損	272	59	209	476	122	352	△ 204	△ 63	△ 142
償却	28	0	28	15	3	0	13	△ 3	28

⑤ 経費

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体
経費	29,661	14,791	13,974	29,472	14,379	14,314	188	412	△ 340
人件費	15,619	6,966	6,493	15,923	7,102	6,667	△ 303	△ 135	△ 174
物件費	11,798	6,556	6,581	11,648	6,368	6,728	149	188	△ 147
税金	2,243	1,268	900	1,900	908	918	342	359	△ 18

⑥ 与信関係費用

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連結	荘内銀行単体	北都銀行単体
与信関係費用	1,187	1,162	△ 83	3,113	2,022	1,081	△ 1,926	△ 859	△ 1,165
一般貸倒引当金繰入額	△ 713	△ 434	-	281	6	310	△ 995	△ 440	△ 310
不良債権処理額	2,005	1,603	116	2,982	2,023	910	△ 976	△ 420	△ 794
貸倒引当金戻入益	-	-	103	-	-	-	-	-	103
償却債権取立益	104	7	96	150	7	139	△ 45	△ 0	△ 43

2. 主要勘定の概況

① 貸出金残高

貸出金残高は、シンジケートローンなど大企業向け貸出を中心に事業性貸出が減少したほか、消費者ローン、地方公共団体向け貸出の減少により、2行合算の貸出金残高は、前期末比 235 億円減少し 1 兆 7,527 億円となりました。

(単位：億円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
貸出金	17,527	9,407	8,119	17,763	9,651	8,111	△ 235	△ 244	8
事業性貸出	6,541	3,222	3,319	6,610	3,256	3,354	△ 69	△ 33	△ 35
消費者ローン	6,531	4,357	2,173	6,634	4,477	2,156	△ 102	△ 120	17
地方公共団体向け貸出	4,454	1,827	2,626	4,518	1,917	2,600	△ 63	△ 90	26

② 預金等残高（譲渡性預金を含む）

預金等残高は、個人預金や法人預金が増加した一方で、公金預金、金融機関預金が減少し、2行合算の預金等残高は、前期末比 51 億円減少し 2 兆 5,378 億円となりました。

(単位：億円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
預金等	25,378	12,921	12,457	25,430	13,254	12,175	△ 51	△ 333	282
個人預金	18,520	9,544	8,975	18,440	9,547	8,893	79	△ 2	81
法人預金	5,217	2,631	2,586	4,941	2,519	2,421	276	111	164
公金預金	1,568	704	864	1,838	1,021	816	△ 269	△ 317	47
金融機関預金	72	41	31	210	166	43	△ 137	△ 125	△ 11

③ 預かり資産残高

預かり資産残高は、荘内銀行、北都銀行ともに生命保険を中心に増加いたしました。2行合算の預かり資産残高は、前期末比 119 億円増加し 3,774 億円となりました。

(単位：億円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増 減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
合計	3,774	1,857	1,917	3,655	1,817	1,837	119	39	79
投資信託	771	403	368	777	421	355	△ 5	△ 17	12
公共債（国債等）	76	48	27	110	68	41	△ 34	△ 20	△ 13
生命保険	2,926	1,405	1,521	2,767	1,327	1,439	159	77	81

④ 有価証券の状況

有価証券残高は、内外金利の上昇リスクに配慮しつつ、収益基盤の強化とリスク分散の観点からポートフォリオのリバランスに取り組む中で残高が減少し、2行合算の有価証券残高は、前期末比 1,927 億円減少し 7,445 億円となりました。

(単位：億円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
有価証券残高	7,445	3,818	3,627	9,373	4,720	4,653	△ 1,927	△ 902	△ 1,025
国債	1,999	963	1,036	2,460	1,057	1,402	△ 460	△ 94	△ 365
地方債	2,106	1,208	897	2,347	1,401	946	△ 241	△ 192	△ 48
社債	922	322	599	1,136	361	775	△ 213	△ 38	△ 175
株式	247	152	94	228	149	78	18	2	15
その他の証券	2,169	1,170	999	3,200	1,749	1,450	△ 1,030	△ 579	△ 451

※ その他有価証券の評価損益 <フィデアホールディングス連結>

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)	平成29年3月期 (b)	増減 (a-b)
その他有価証券 評価損益	27,598	27,035	563
株式	8,927	7,979	947
債券	11,108	13,413	△ 2,305
その他	7,563	5,642	1,920

3. 不良債権の状況

お取引先の経営課題やニーズにお応えするコンサルティング営業に注力する中で、フィデアホールディングス2行合算の金融再生法開示債権残高は 336 億 77 百万円、同比率は 1.88%となりました。

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増減 (a-b)		
	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体	2行合算	荘内銀行単体	北都銀行単体
金融再生法開示債権残高	33,677	23,935	9,741	37,845	24,791	13,053	△ 4,167	△ 855	△ 3,312
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,794	8,215	3,579	8,241	5,526	2,715	3,552	2,689	863
危険債権	18,823	12,957	5,865	25,124	15,299	9,825	△ 6,300	△ 2,341	△ 3,959
要管理債権	3,059	2,762	296	4,479	3,966	513	△ 1,420	△ 1,203	△ 216
金融再生法開示債権比率	1.88%	2.50%	1.17%	2.09%	2.52%	1.57%	△ 0.21%	△ 0.02%	△ 0.40%

4. 自己資本比率の状況

内部留保の充実に取り組む一方で、劣後債務の期限前償還により自己資本額が減少したことやリスクアセットが増加したことから、自己資本比率は低下いたしました。

フィデアホールディングス連結の自己資本比率は、前期末比 0.27 ポイント低下し 9.21%となりました。

(単位：百万円)	平成30年3月期 (a)			平成29年3月期 (b)			増 減 (a-b)		
	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体	連 結	荘内銀行単体	北都銀行単体
自己資本比率 (A)÷(B)	9.21%	9.38%	10.98%	9.48%	9.98%	11.25%	△ 0.27%	△ 0.60%	△ 0.27%
自己資本の額 (A)	104,127	58,770	54,952	106,628	63,370	54,782	△ 2,501	△ 4,600	170
コア資本に係る基礎項目	106,095	59,173	56,351	108,650	63,777	56,286	△ 2,554	△ 4,604	65
コア資本に係る調整項目(△)	1,968	402	1,399	2,021	406	1,504	△ 53	△ 4	△ 104
リスクアセット (B)	1,130,268	626,009	500,179	1,124,772	634,689	486,549	5,495	△ 8,680	13,630

5. 業績予想

平成 30 年度のフィデアホールディングス連結業績予想は、コンサルティング営業の強化による役務取引等利益の積み上げや経費の圧縮を進める一方で、与信関係費用計画値の増加や、現在の市場環境を踏まえ有価証券関係損益を保守的に計画していることなどから、経常利益は前期比 33 億円減少の 32 億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比 14 億円減少の 28 億円を見込んでおります。

また、普通株式の配当金は、前期同様、1 株当たり中間期 3 円、期末 3 円を予定しております。

《フィデアホールディングス連結》

(単位：億円)	平成30年度 通期 業績予想 (a)	平成29年度 通期 実績 (b)	前期比 (a-b)
業務粗利益	326	350	△ 24
うち資金利益	283	325	△ 42
うち役務取引等利益	53	49	3
うち国債等債券損益	△ 3	△ 18	14
経費	288	296	△ 8
実質業務純益	38	54	△ 16
与信関係費用	17	11	5
株式等関係損益	3	17	△ 13
経常利益	32	65	△ 33
親会社株主に帰属する当期純利益	28	42	△ 14

《ご参考 荘内銀行単体および北都銀行単体》

(単位：百万円)	平成30年度 通期 業績予想		(平成30年度 中間期 業績予想)	
	荘内銀行	北都銀行	荘内銀行	北都銀行
経常利益	1,500	1,400	900	600
当期純利益	1,400	1,200	600	500

※ フィデアホールディングス 普通株式の 1 株当たり配当金

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
平成30年3月期	3円00銭	3円00銭	6円00銭
平成31年3月期 (予想)	3円00銭	3円00銭	6円00銭